

水稻の生育状況と当面の対策

基本技術を励行して消費者に「おいしいお米」を届けよう！

http://www.pref.chiba.lg.jp/nourinsui/08seisan/nousan/suitou_seiku/index.html

第 2 報
千葉県農林水産部
平成20年6月17日

早生の穂肥は遅れずに施用を！

[生育概況]

生育は軟弱！（表1、表2を参照）

5月末から6月初めにかけて、気温、日照時間ともに平年を下回り、生育への影響が心配されましたが、6月16日現在の県全体の水稻の生育は平年並みとなっています。

しかし、県北・九十九里などの一部地域では、5月中旬の冷たい北東の風の影響により、生育が遅れています。

茎数、葉色は平年並みとなっていますが草丈はやや高く、全体的にやや軟弱な生育となっており、中には、天候不順により分けつが少なく、葉色のさめが遅れているほ場も見受けられ、そのようなほ場では穂肥の施用時期、量に注意が必要です。

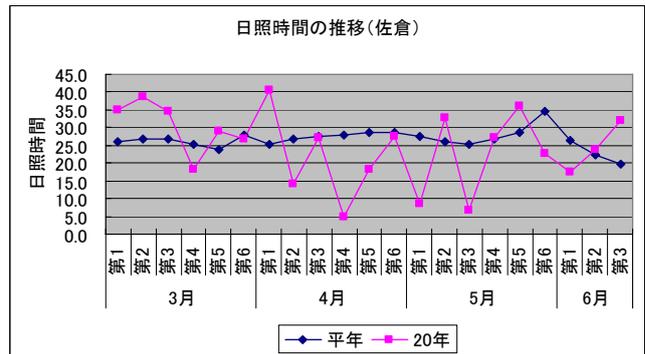
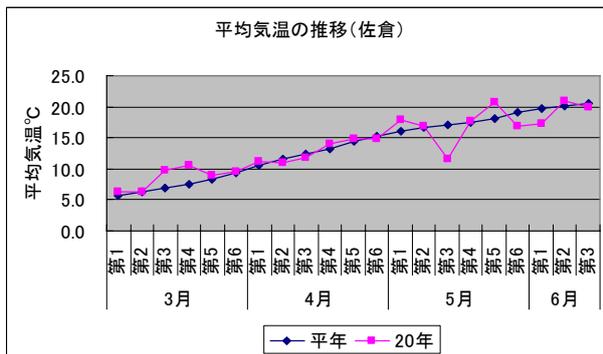


表1 品種別の生育状況（6月16日現在）

品種	植付時期	平年遅速	平年比		
			草丈	茎数	葉色
ふさおとめ	4月20日頃	やや早	並	やや多	並
ふさこがね	4月20日頃	並	やや高	並	並
コシヒカリ	4月20日頃	並	やや高	並	並
	5月1日頃	やや遅	やや高	やや多	並

※ 平年比は過去5カ年（2003～2007年）平均値との比較、ただし「ふさこがね」は過去2カ年平均との比較です。

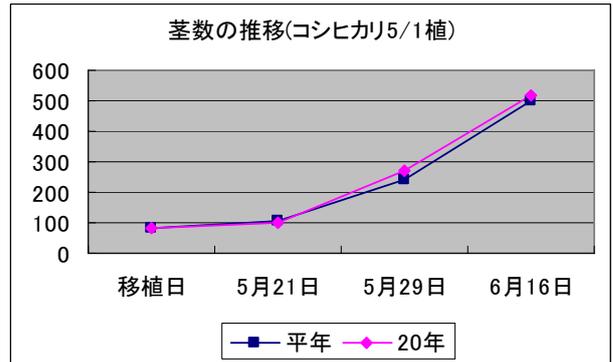
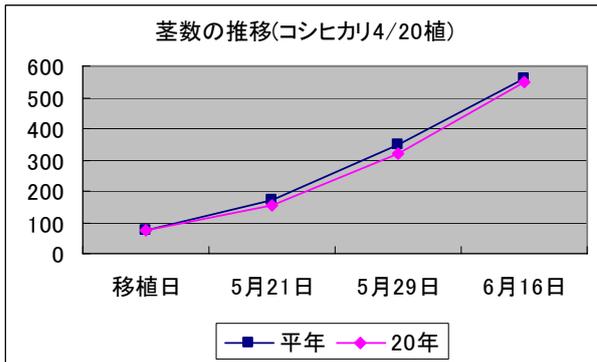
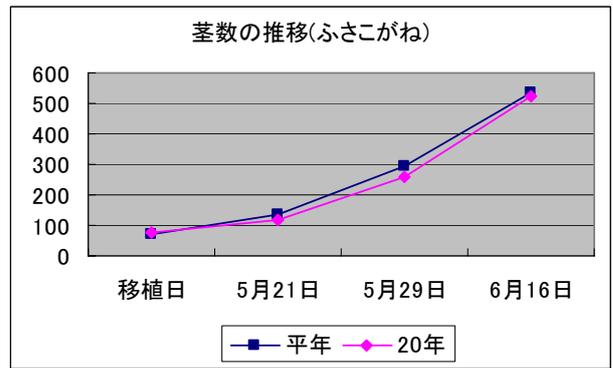
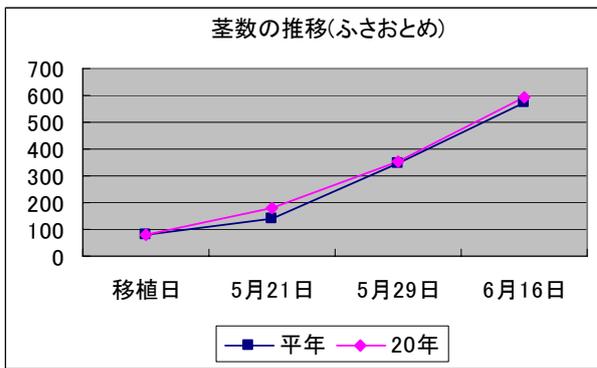


表2 品種別の幼穂形成期と冷害危険期の予測

品種	植付時期	幼穂形成期予測 (月日)				冷害危険期 予測(月日)
		県北	九十九里	内湾	県南	
ふさおとめ	4月20日	6月24日	6月22日	6月20日	6月19日	6月29日～
ふさこがね	4月20日	6月26日	6月24日	6月22日	6月21日	7月 1日～
コシヒカリ	4月20日	7月 3日	7月 1日	6月28日	6月28日	7月10日～
	5月 1日	7月 8日	7月 6日	7月 4日	7月 4日	7月14日～

※「ふさおとめ」「コシヒカリ」は幼穂長の実測及びメッシュ予測、「ふさこがね」は幼穂長の実測及び葉令等からの推定による。

※県北、九十九里の太平洋側地域では、上記予測値より3～5日程度遅くなることが予測されます。

[これからの管理のポイント]

幼穂形成期からは間断かんがいで管理！

軟弱な生育にあるため、幼穂形成期までは排水溝を設置するなど中干しを徹底する。幼穂形成期からは、田面水がなくなれば入水する「間断かんがい」を行います。

平均気温 20℃以下が続くときは湛水・深水管理

幼穂形成期以降に平均気温が20℃以下の低温が続くことが予想される場合は、深水かんがいで管理します。

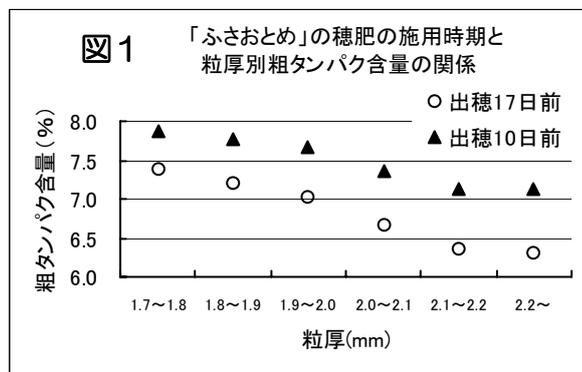
幼穂形成期から冷害危険期までは湛水深10cm程度、冷害危険期(出穂前15日～10日)には湛水深20cm程度の深水管理とします。

穂肥は遅れないように！

「ふさおとめ」穂肥 (表2・3、図1を参照)

4月20日植えの「ふさおとめ」は、6月19日頃から幼穂形成期(幼穂長1mmが80%以上)を迎え、6月26日頃から穂肥施用適期と予測されます(出穂前18日ごろ(幼穂長10mm)が目安となります)。幼穂を確認し、適期に穂肥を施用しましょう。

穂肥の施用は品質の向上、収量の確保を図る大切な作業です。適期に適量を施用し、粗タンパク含量が低く食味のよい米を生産しましょう。



施用量は、砂質土・壤質土ではチツソ・カリ成分を

3kg/10a、房総南部の粘質土では1~2kg/10aが目安です。低温になっても、穂肥は適期に適量を施用してください。

また、茎数が少ないほ場については、早く穂肥をしがちですが、葉色のさめが遅れているので、適期に施用しましょう。

表3 「ふさおとめ」穂肥施用の目安(幼穂形成期)

品種	穂肥施用目標茎数(本/m ²)			葉色 (カラスケール値)
	砂質	壤質	粘質	
ふさおとめ	570~620(32~34)	520~570(29~32)		4.0

()内は30cm×18cmで植え付けされた時の1株平均茎数

「ふさこがね」の穂肥! (表1, 2, 4参照)

幼穂形成期は「ふさおとめ」に比べ2日程度遅く、6月21日頃と予測され、穂肥施用適期は6月28日頃と予測されます(出穂前18日ごろ(幼穂長10mm)が目安となります)。幼穂を確認し、適期に穂肥を施用しましょう。穂肥は窒素3kg/10aを施用します。

穂肥は、茎数など穂肥施用の目安(表4)により施用しますが、穂肥の適期をつかむためには、幼穂を早めに観察しましょう。

表4 「ふさこがね」穂肥施用の目安(幼穂形成期)

品種	草丈cm	茎数 本/m ²	葉色(カラスケール)
ふさこがね	60~65以下	450~550	5.0

葉いもちは早期防除!

現在やや軟弱な生育にあり、今後、平均気温20~25℃で曇雨天が続く場合、葉いもちの発生が懸念されます。発生が見られた早期に防除しましょう。

6月下旬には畦畔雑草の刈り取りを!

出穂直前の畦畔雑草は、移動してきたカメムシ類の水田への侵入を助長します。集落等で話し合いを行い、出穂2週間前頃までに雑草を刈り取りましょう。



ふさこがね 6月16日 千葉市緑区刈田子町